

6 質問紙から見える本県の学校の姿

(1) 小学校

学習規律が徹底され、落ち着いた雰囲気の中で、授業が行われている

- 「児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思う」学校は、91.8%（全国比+1.1）、
「児童は、礼儀正しいと思う」学校は、90.6%（全国比+1.1）である。
- 「児童は、熱意をもって勉強していると思う」学校は、90.5%である。
- 「学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、
授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底している」学校は、96.4%である。

基礎的・基本的な事項を定着させる授業が充実している

- 「国語で、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行っている」学校は、
98.4%である。
- 「国語で、補充的な学習の指導を行っている」学校は、87.9%（全国比+8.8）である。
- 「算数で、計算問題などの反復練習をする授業を行っている」学校は、98.4%である。
- 「算数で、補充的な学習の指導を行っている」学校は、97.0%（全国比+3.7）である。

授業における基本的な指導方法は確立されている しかし…

- 「授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた」学校は、99.8%である。
 - 「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」学校は、95.8%である。
- * 平成28年度鹿児島県学習定着度調査における5年生の児童質問紙では、「授業のめあてを立て
ている」と回答した児童は89.7%、「授業の終わりに学習内容を振り返る活動を行っている」
と回答した児童は、68.9%であった。

校内外の教員同士の研修が充実していない

- 「授業研究を伴う校内研修を、年間5回以上実施している」学校は、45.0%（全国比-43.0）である。
- 「児童は、学級やグループでの話し合いの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることがで
きている」と思っている学校は、64.9%（全国比-6.8）である。
- 「児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなど
の学習活動を学ぶ校内研修を行っている」学校は、76.3%である。
- 「教員が、校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加している」学校は、77.3%（全
国比-8.2）である。

(2) 中学校

学習規律が徹底され、落ち着いた雰囲気の中で、授業が行われている

- 「生徒は、授業中の私語が少なく落ち着いていると思う」学校は 95.0%、「生徒は、礼儀正しいと思う」学校は、95.9%（全国比+2.2）である。
- 「生徒は、熱意をもって勉強していると思う」学校は、86.9%である。
- 「学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底している」学校は、99.1%である。

基礎的・基本的な事項を定着させる授業が充実している

- 「国語で、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行っている」学校は、99.1%である。
- 「国語で、補充的な学習の指導を行っている」学校は、84.1%（全国比+1.8）である。
- 「数学で、計算問題などの反復練習をする授業を行っている」学校は、97.7%（全国比+1.2）である。
- 「数学で、補充的な学習の指導を行っている」学校は、94.6%（全国比+2.7）である。

授業における基本的な指導方法は確立されている しかし…

- 「授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れた」学校は、98.2%である。
- 「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」学校は、94.1%である。

* 平成 28 年度鹿児島学習定着度調査における 2 年生の生徒質問紙では、「授業のめあてを立てている」と回答した生徒は 84.1%、「授業の終わりに学習内容を振り返る活動を行っている」と回答した生徒は、53.2%であった。

校内外の教員同士の研修が充実していない

- 「授業研究を伴う校内研修を、年間 5 回以上実施している」学校は、57.5%（全国比-10.9）である。
- 「生徒は、学級やグループでの話し合いの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と思っている学校は、64.3%（全国比-8.6）である。
- 「授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた」学校は、67.8%（全国比-7.3）である。
- 「教員が、校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加している」学校は、67.4%（全国比-14.1）である。